

大規模災害時想定「地震・火災・トリアージ訓練」を実施

当院は、静岡県から2018年4月1日に「災害拠点病院※」に指定されており、災害に備えて、地震訓練・消火器訓練・夜間想定火災訓練などさまざまな訓練を実施しています。

今回実施する「地震・火災・トリアージ訓練」は、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため規模を縮小して実施しましたが、今年度は医師・看護師・医療技術職・事務職などの職員約230名が参加し、本番さながらに訓練します。（2022年度は90名で実施／2021年度は実施なし）

訓練では、大地震発生時に病院玄関に被災者が多数押し寄せてきた、さらには院内で火災が発生したと想定。組織編成、応援体制について以前の訓練で出た課題に対して改善を行い訓練することで、近く発生が予想されている南海トラフ地震への更なる対応力向上を図ること、また住吉自治会役員の方々が見学にお越しになるので、災害発生時の病院状況を理解していただき、互いに協力できる関係を築くことを目的としています。

※災害拠点病院は、被災地からの重症・重傷患者の受入れや搬送、災害派遣医療チーム（DMAT）の保有など、

災害時の医療救護活動の中心的な役割を担います。（現在、県内22病院、県西部5病院が指定）

【実施日】 12月23日（土） 9時00分～11時00分

【訓練場所】 聖隷浜松病院内（災害対策本部、外来エリアなど）

【参加者】 230名程度（診療部、看護部、医療技術部、事務部、業務委託・派遣職員）

（訓練目標と各訓練内容）

●目標

- 1、災害対策本部内各統括グループが役割を理解し、情報の集め方・整理の仕方を理解する
- 2、災害対策本部、トリアージ各エリアの立ち上げがスムーズにできるようにする
- 3、トリアージの活動が円滑にできる

●主な訓練内容

- ・各エリア（災害対策本部・職員参集場所・トリアージポスト等）の立ち上げと運用
- ・アンピックによる安否確認 EMIS入力 等

（参考）昨年度までの様子（写真左：災害対策本部、右：トリアージ）



ぜひ、貴社にてご紹介いただければ幸いに存じます。

取材にお越しになれる場合は、前日までに下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】聖隷浜松病院 学術広報室 北岡、太田
浜松市中区住吉 2-12-12 TEL. 053-474-2753 FAX. 053-474-2763